

【達成目標】

気象データ理解力

1. 気象データの全体像を知っている
2. 気象データの入手方法を知っている
3. 気象データの利用方法・利用例を知っている
4. 気象データの利活用を構想・提案できる ※1
5. 気象データの利活用をコンサルティングできる ※2

気象ビジネス発想力

1. 気象ビジネスの国内/海外事例を知っている
2. ビジネス現場のデータを知っている (例：POSデータ等)
3. 気象ビジネスを発想できる ※1 ※3
4. 発想した気象ビジネス案を具体化し、提案できる ※3
5. 気象ビジネスのコンサルティングができる ※2

IT活用力

1. 気象データのフォーマットを知っている
2. 気象データ分析のスキルを有する (ツールは不問)
-過去の1地点データ、メッシュデータ、確率予報
-気象データと掛け合わせるビジネス現場のデータ (例：POSデータ等)
3. IoT/AIの概要、IoT/AIを利用した気象ビジネスの事例を知っている
4. IoT/AIを利用する気象ビジネスのシステムを構想し、提案できる ※3
5. 気象ビジネスへのIT活用をコンサルティングできる ※2

※1：セミナー等で構想の源となる情報提供を想定 ※2：プロ (気象事業者/IT企業) の領域と想定 ※3：独力、チームの如何は問わないことを想定

説明内容			達成目標 (※上記参照)																				
			気象データ理解力					ビジネス発想力					IT活用力										
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
済 第1回	7月6日開催	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																		
		基礎知識	気象庁情報カタログの紹介	○	○																		
		観測	アメダス (*1) データの概要及び特徴	○																			
			アメダスデータのデータ形式 (BUFR) *2		○	○												○					
		観測	気象衛星観測データの概要・特徴	○																			
			気象衛星観測データの形式		○	○												○					
ビジネス事例	気象情報はビッグデータ、IoT、AIのフロントランナー			○						○	○	○						○					
ビジネス事例	気象データを活用したビジネスの現状と可能性			○						○	○	○						○					
済 第2回	9月7日開催	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																		
		基礎知識	気象庁情報カタログ等の紹介	○	○																		
		予報	週間・1か月・3か月予報データの概要・特徴	○																			
			2週間気温予報の紹介																				
		予報	週間・1か月・3か月予報データのデータ形式 (CSV他)		○	○												○					
			清涼飲料及び家電流通分野における2週間先までの気温予測データを活用した事例				○					○	○	○									
		海洋	海水温・海流予報格子点資料の概要・特徴	○																			
			海水温・海流予報格子点資料のデータ形式 (GRIB2) *3		○	○												○					
		ビジネス事例	気象海象情報サービスの事例 (海水温・海流予報データを活用した事例)				○					○	○	○									
ビジネス事例	国土地理院のウェブ地図「地理院地図」の紹介				○					○	○	○											
ビジネス事例	気象情報を活用した潜在リスクの把握とリアルタイム情報				○					○	○	○						○					

説明内容			達成目標（※前頁参照）																		
			気象データ理解力					ビジネス発想力					IT活用力								
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
済 第3回 11月9日 開催	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																	
	基礎知識	気象庁情報カタログ+GRIB2形式+最新のトピックスの紹介	○	○	○											○					
	予報	ガイダンスデータ(*4)・降水15時間予報データの概要・特徴 ガイダンスデータ・降水15時間予報データのデータ形式 (GRIB2他)	○														○				
	観測	ナウキャストデータの概要・特徴*5 ナウキャストデータの形式 (GRIB2)	○														○				
	ビジネス事例	旅のミライへ！日本の四季を観光資源に、気象データと観光予報プラットフォームの可能性				○					○	○	○						○		
	ビジネス事例	食品ロス・廃棄を削減するデータ流通基盤				○					○	○	○						○		
済 第4回 1月30日 開催	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																	
	基礎知識	気象庁情報カタログ+GRIB2形式+最新のトピックスの紹介	○	○	○											○					
	観測	気象衛星の基礎	○	○	○											○					
		トゥルーカラー再現画像及び高分解能雲情報の概要・特徴	○														○				
		トゥルーカラー再現画像及び高分解能雲情報のデータ形式 (GRIB2他)			○	○											○				
		推計気象分布の概要・特徴 推計気象分布の形式 (GRIB2)	○															○			
	ビジネス事例	気象データのEMS分野での利活用例 -JST CREST HARPSの取り組み-				○					○	○	○								
ビジネス事例	気象データを活用したGIS関連のビジネス事例				○					○	○	○									
会員 限定	アメダス気象データ分析チャレンジ！CSV版（1日版、3日版）		○	○	○	○				○	○	○				○	○				
	メッシュ気象データ分析チャレンジ！GRIB版		○	○	○	○						○				○	○				
	確率予報データ分析チャレンジ！XML版 *6		○	○	○						○	○	○			○	○				
	ビジネスマッチングイベント																		○	○	

※地震・津波、火山に関する各種情報の概要、種類、入手方法についてもセミナー内で紹介することを検討しています。

【用語解説】

- *1 アメダス：地域気象観測システム（Automated Meteorological Data Acquisition System：AMeDAS）の略称。
雨、風、雪などの気象状況を時間的、地域的に細かく監視するために、降水量、風向・風速、気温、日照時間の観測を自動的に行っている。
- *2 BUFR：世界気象機関(WMO)が規定する国際的な気象通報式で、二進（バイナリ）データとしてファイルフォーマット化して伝送する形式。アメダスなどの地点ごとの観測データの提供に利用している。
- *3 GRIB2：世界気象機関(WMO)が規定する国際的な気象通報式で、二進（バイナリ）データとしてファイルフォーマット化して伝送する形式。数値予報モデルデータ、ナウキャストなどのメッシュデータの提供に利用している。
- *4 ガイダンス：数値予報モデルの結果を、実際の予報を行うにあたって利用しやすい形に置き換えたデータ。
- *5 ナウキャスト：気象レーダー等で観測された過去の降水域の動きと現在の降水の分布等を元に、目先1時間の降水の分布や、雷の可能性等を1km解像度（高解像度降水ナウキャストは250m解像度、30分先まで）で予想したデータ。
- *6 XML：気象庁で利用しているデータ提供形式の一つで、文章化された情報を中心に利用されている。機械判読に適した形式となっている。